

2022 年生型研究部会シンポジウム

「生型砂特性の把握と管理技術」のご案内(案)

主催 (公益社団法人)日本鑄造工学会
生型研究部会 部会長 川島浩一

SDG's にかかる環境問題から、自動車産業界では電気自動車へ転換が進みつつあり、自動車産業に大きく依存する日本の鑄造産業界も転換の岐路に立とうとしています。またビッグデータやIoTで表現されるデジタル及びネットワーク技術が色々な生産現場に導入されつつあります。これら状況を踏まえて、日本の基幹産業である鑄造技術を維持し将来へ継承するためには、鑄物の高品質化・高付加価値化を実現する確固たる技術の継承と新たな開発がますます重要になってくると考えられます。特に生砂型は固有かつ基盤技術として重要な位置づけであると考えられます。

そこで、生型研究部会では、“生型砂特性の把握と管理技術”をサブテーマに掲げ、IoTを視野に入れつつ、生型砂管理技術を中心として、生型砂特性の現状把握とその管理技術のデジタル化について研究を進めてきました。途中、2020年頃から流行した新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中断した時期もありましたが、1つの報告書としてとりまとめた次第です。その成果を広くお知らせするため、発表の場を設定しましたので、多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時 : 2022年11月17日(木) 10:30~17:00

場 所 : 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 10階 1001会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

※新型コロナウイルス感染症の影響によって、ハイブリッド開催に変更する可能性があります。

参加費 : 日本鑄造工学会会員 13,000円, 学生 1,000円, 非会員 26,000円

募集人員: 定員 100名 (定員になり次第締め切り)

参加申込: 2022年10月31日(月)までに、日本鑄造工学会学会ホームページ (<https://jfs.or.jp>) の「シンポジウム申込フォーム」からお申込みください。

[事前お問い合わせ先]

- (公社)日本鑄造工学会 事務局
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-15-33 芝浦清水ビル 2階
TEL: 03-6809-2303 FAX: 03-6809-2330 E-mail: jfes@jfs.or.jp
- 生型研究部会事務局
大同大学 工学部機械工学科 教授 前田安郭
TEL 052-612-6111 FAX 052-612-5623 E-mail: y-maeda@daido-it.ac.jp

= プログラム =

10:30～10:35 開会の挨拶

部会長/(株)マツバラ 川島浩一

= 生型砂管理における試験方法 =

10:35～10:45 生型砂試験法について(報告書 3-1)

前部会長/大同大学 前田安郭

10:45～11:45 生型砂試験片の作成方法と特性(報告書 3-3)

大同大学大学院 船橋幹人、前田安郭

11:45～13:00 昼休憩

13:00～13:10 メチレンブルー試験アンケート(報告書 3-4)

前部会長/大同大学 前田安郭

13:10～13:40 生型砂の活性粘土分試験方法における比色法の適用(報告書 3-6)

(株)マツバラ 川島浩一

13:40～14:40 共同調査メチレンブルー(活性粘度測定)のまとめ(報告書 3-8)

(株)ツチヨシ産業 黒川豊

14:40～15:00 休憩

= 生型砂特性の把握と管理 =

15:00～16:40 15(20)分×5件

DEM を利用した砂充填解析の開発(報告書 2-8)

アイシン高丘(株) 木村亘

真空混練における生砂/生型特性(報告書 2-13)

日立金属(株) 前野祐太

加水ミキサー(連続式)による生型回収砂の性状安定化事例(報告書 2-15)

大洋マシナリー(株) 藤井真

ACEX 導入による効果と生砂性状の課題(報告書 2-20)

(株)コヤマ 石澤允、田中直也

新砂変更による品質への影響(報告書 2-25)

福島製鋼(株) 遠藤裕太

16:40～16:50 閉会の挨拶

前部会長/大同大学 前田安郭